

草津市議会議長 中嶋 昭雄 様



令和5年2月17日

草津市議会会派 市民派クラブ
会長 奥村 恭弘



草津市議会 市民派クラブの令和4年度政務活動費実施研修（会派研修）の結果について、下記のとおり報告書を提出いたします。

記

1. 期間 令和5年2月7日(火)
2. 日程
令和5年2月7日(火) 14時～17時
株式会社 地方議会総合研究所 主催
セミナー名「市長経験者が明かす！予算審査のツボ」
ヤサカ四条烏丸ビル2階会議室
3. 参加者 土肥 浩資
4. 添付資料
別紙のとおり

政務活動報告

市民派クラブ 土肥 浩資

日時:令和5年2月7日14:00~17:00

場所:ヤサカ四条烏丸ビル2階会議室

参加者:土肥 浩資

セミナー名:市長経験者が明かす!予算審査のツボ

講師:合資会社まちづくりコーディネーター代表 平井 竜一(前逗子市長)

【目次】

1. 議会が予算を決める
2. 財政難時代の予算作り
3. 代表質問で何を問うべきか?
4. 格調高い質問で差をつけろ!
5. 受講者(会派)の代表質問を採点
6. 受講者の自治体予算を斬る!
7. 行政が変わる!議会が変わる!~予算修正案を提案する~

【概要】

1. 議会が予算を決める

①議会は議決権を持っており、予算の決定権者である。一方、市長は提案権と執行権を持つに過ぎず、議会が決定しない限りは執行ができない立場にある。

それだけに、政策決定と実施結果に対する市民への説明責任が議会にこそ問われる。

②逗子市の平成28年度予算において、国保特別会計繰出金の削減2億円、国保料値上げ条例改正が否決された。これにより28年度決算の収支が悪化し、翌29年度では緊急財政対策を講じる必要が生じ、多くの行政サービスの縮小を余儀なくされた。もちろん、それまでの市政運営にも問題があったかもしれないが、このケースで言えば、議会での否決によって財政危機を迎えたとも言える。自らが招いた結果であることを理解し、議会として決定することの重みを知るケース。

③西東京市では、コロナ交付金を防災無線個別受信機の購入に充てた。令和2年7月補正予算で、1億3,000万円を使い、購入した防災無線個別受信機は10,000台。コロナと防災無線個別受信機に一体なんの関係があるのか。明らかに便乗予算といえる。しかも、この予算が成立し、実際に10,000台もの防災無線個別受信機を購入したものの、令和4年9月時点で配布した台数はわずか2,100台。いまだに8,000台近くは在庫として眠っており、日の目を見ていない。誰もが窮している中で他にコロナ対策としてやるべきことがあったのではないか。提案した市もさることながら、議決した議会の責任は大きい。議会のチェックの甘さが目立った事案ではないか。

2. 財政難時代の予算作り~あらゆるリスクに備えよ!~

- ①予算と決算の推移を見よ
- ②長期財政見通しをチェック
- ③繰越金当初予算と決算剰余金
- ④財調の当初繰入と年度末積立

3. 代表質問で何を問うべきか

- ①わがまちのビジョンを問え

- 1) 総合計画・地方創生戦略・首長の所信表明・公約と自らの公約・会派の政策を照らし合わせ
- 2) 施政方針において、どのような「まち」を目指しているかが語られているか？
- 3) 新年度予算によって計画目標や市長の公約は実現するのか？
- 4) ウィズコロナのまちや暮らしの在り方、自治体の果たすべき役割とは何か？

②最重要課題を論ぜよ

- 1) 格差、経済低迷、人口減など、何を最重要課題と捉えるかによって政治理念が問われる。厳しい財政のなかで何に予算を重点配分するのか。
- 2) いま取り組むべき最重要課題はなにか。
- 3) なぜその事業に取り組むのか。
- 4) その事業によってどのような待ちを目指すのか。
- 5) 他に優先すべき重要課題はないのか。

③財政に切り込め

- 1) 財政の長期見通しを明らかにし、行財政改革の課題を質す。将来への責任として、リスクへ備える財政力があるか？そのために今何をすべきか？を問う。
- 2) 歳入増加策はあるか。
- 3) 歳出削減の具体策は。
- 4) 財政調整基金の妥当な水準は。
- 5) 経常収支比率をどこまで下げられるか。
- 6) 決算を踏まえ、歳入歳出は適正か。
- 7) 老朽化した施設の計画的整備は。

④問題予算を指摘せよ

- 1) 行政は万能ではないため、必ずどこかに問題はある。議決する責任を感じ、議会が予算の決定権を持っているという自覚を持つこと
- 2) 検討は十分か。
- 3) 効果は明確か。
- 4) 市民参加は適切か。
- 5) 政策の優先度は高いか。
- 6) 決算の指摘を踏まえ、検討したか。

4. 格調高い質問で差をつける

①自らの所信を語るべし

市民の代表として、まちの課題と自らの思いを語る。選ばれた責任を持ち、何のために政治を行うのか？そして今何をなすべきなのか？を自問せよ。

②施政方針及び予算の評価点と問題点をあぶり出せ

客観的かつ論理的な議論が真摯な答弁を引き出す。言論の府の品格をもって議会が厳しいチェック機能を果たし、緊張感ある政治を為す。

③問題点に対する対案を示せ

問題を解決に導くための対案を示してこそ評価される。議会の多数が賛同すれば予算案の修正議決もできる。

5. 受講者(会派)の代表質問を市長の目線で採点

①T議員の場合

【骨太迫及型】

市長公約と総合計画の整合性、人口減少問題、行財政改革、職員活性化、高齢者対策の充実、たばこ生産地として喫煙者と非喫煙者の共存

↓

大局的質問で構成し、代表質問にふさわしい。重点事業に対して必要性和効果を質し、予算の評価と問題点を明らかにされたい。再質問ができればさらに議論が深まる。

6. 受講者の自治体予算を斬る！

受講者の各自治体の令和2年度決算カードをもとに財政力を比較(添付資料参照)

草津市は、県内では比較的財政力があるとされているようだが、経常収支比率は94.9%、公債費負担比率は14.8%、実質単年度収支は1億6,861万円と、講師の目線では黄色信号という評価。

7. 行政が変わる！議会が変わる！～予算修正案を提案する～

①市長提案の議案を全て賛成していいのか？

②議会がチェック機能を果たす最大の武器とは？

③議案を修正・否決する時の着眼点とは？

市長と議会の緊張関係が活性化をもたらす。逗子市議会では予算修正が当たり前。16年間で修正7回、否決1回。

市の説明が足りない、コスト試算が甘い、市民の理解が足りないなど、疑問があれば議決権で待ったをかけ、再検討と合意形成を求め、厳しくチェック機能を果たそう。

【所感】

率直な感想を言えば、これまで議決することの重みを十分に感じて議会に臨めていなかったのではないかと自省の念に駆られた。また、提案権・執行権に対する議決権の大きさについても、些か過小評価していたところを認めざるを得ない。

否決したら行政が動けなくなり、市民が困る。だから賛成するのが当たり前だと考えていた。しかし、今回のセミナーを受講し、市議会議員経験もあるという前市長の経験や考えを聞いていると、これまでの当たり前を覆すべきだと改めた。

もちろん、180度変わってなんでもかんでも反対というスタンスになるわけではなく「予算案に100点はない」という見方で予算審査に臨み、本当に効果があるのか？この額は適正なのか？という視点を更に鋭くしていかなければならないということ。提案側のアラ探しではなく、ともに良い予算を作るという意識で審査に臨んでいくという感覚をもつことが重要。

この研修を経て迎える令和5年2月定例会においては、予算常任委員会の委員長として審査に臨むので、今回得たことを審査する立場で活かすことはできないが、より活発で有意義な審査になるための委員会運営に活用していきたい。また、予算に限らず、様々な議案についてもチェック機能を果たし、議決権の大きさを感じながら市民の代表として職務を全うしていきたい。